

MOSAIC



河北台中学校第2学年通信

企業と学ぶ 「全ての人」が輝く術

NHK金沢放送局



- ひと目で時間が分かるよう、秒針付きのアナログ時計があちこちあること、カメラ目線になりながら原稿を見て話すためにプロンプターという機械があるなど驚きと感嘆に満ちた学びが様々あった。(1組 中川)
- 番組のセットを他の番組にも再利用することでSDGsに取り組んでいました。僕も習いたい。(2組 大野)
- 天気のコーナーでは最新の情報を届けるために開始10分前まで天気の動きを確認するなど、視聴者のことを考えて工夫していることが分かりました。(1組 酒井珠)

中日新聞 幸ビル



- 「誰が読むか」を考えてから新聞をつくることを学びました。子どもが読む際は写真を大きくしたり、大人が読む際は内容や事実だけではなく意見の伝え方も意識していることが分かりました。(1組 塩本)
- 記者の話を聞いたり、情報を新聞で伝えたことで、実際に行動してくれた人がいたという話を聞き、新聞に関わる仕事のやりがいや意義を感じました。(1組 小林)
- 「読書バリアフリー法」を意識して、誰もが読書できるように取り組んでいるそうです。(2組 酒井煌)

北國銀行 本店



- 職場にはモニターとパソコンしかなく、引き出しやごみ箱がありませんでした。紙を極力使わないことを徹底されていると感じました。また、社員のコミュニケーションをクラウド上で行うなど、働き方改善への取組がすごいと感じました。(3組 林)
- 高齢者を詐欺から守るために、デジタルだけでなく、「声かけ」をするなど、人と人、人と地域の関わりもあり、感動した。(3組 山本)

- スーパーでは分からぬ卸売の現場を見ることができました。商品を損なわないように専用の靴に履き替えたり、貴金属はすべて外すなどの配慮に驚きました。(2組 岡田)
- 市場でないと見られないものが見れて感動しました。緑色のバナナ、ハロウィンかぼちゃ、花、しめ飾りなどです。青果の大きさ以外に秀、優、良などの質の違いによっても選別しているそうです。(2組 川田咲)
- 農家のことを考えて、野菜や果物が高く売れるように工夫していることが分かった。(2組 能任大)



丸果石川中央青果

北陸スバル SWING



- 交通死亡事故ゼロに向けて、様々な取組をしていることが分かりました。5つの安全、「0次安全」、「走行安全」、「予防安全」、「衝突安全」、「つながる安全」をメーカーとディーラーで意識していました。

(1組 川原)

- モノづくりの目的について、モノは違っても思いは同じで環境や人の生活をより良くすることなのだと感じました。ささいなことでもSDGs達成につながると知りました。(3組 金子)
- 車の仕事を通して「子供110番への登録」、「炎症性腸疾患(IBD)への参加」、環境保全活動など様々なSDGsやUDに関わる取組をされていると知りました。(1組 西村)

- 1番すごかったのはお風呂の床が子供やお年寄りに配慮され柔らかい素材できていたことです。みんなが住みやすい家の工夫がたくさんあると思いました。 (3組 橋爪)
- ドアは指を挟まないように強く締めても最後はゆっくりになる工夫に驚いた。最近の家は水回りを1か所に集める工夫や、木材だけで建てる基準の難しさがあることを知った。 (1組 角見)



- 2.5階の部屋が秘密基地みたいですごかった。断熱材で夏も冬も快適に過ごせるのもいい。(3組 飛地)



ウッドライフホーム

LIXILショールーム



- あらゆる人の視点で家が作られていて感動しました。より楽に、より長く使えるように工夫されていて、ユニバーサルデザインにつながっていました。 (3組 松谷)

(3組 松谷)

- 蛙田家用に紹介された「アイランドキッチン」家族みんなで料理ができるのが素敵でした。(3組 広田)

- 家事などを楽にする工夫があった。「きれい除菌水」という技術は水なのに99%除菌しつつ、人体にも安全。それがたくさんの製品に使われていて画期的だと思った。(3組 櫻井)
- 使用する人の立場で様々な工夫があった。トイレは自動で洗浄、そして従来より3分の1の節水する機能。手すり付きで座高を自在に変えられるトイレ、驚きの連続だった。 (3組 松田)



- 便座の高さ調節や段差のない風呂場、座ったまま使えるキッチンなど、車いすの人だけでなく、すべての人を考えた工夫がすごい(1組 村田)



TOTOTOショールーム

あらゆるものをもっと普遍的に使いやすくすることはできますが、そのためには

細かいことに注意を払う必要があります。

Ronald. L. Mace (UDの発案者)

金沢研修×SDGs+UD=私の課題と目標

21世紀美術館



- 考えていたバスが時刻表になかったこと以外はやりたいこともでき時間にも間に合いました。企業研修前のすき間時間に金沢駅周辺の撮影スポットもまわることができました。 (2組 吉田菜)



- 和菓子作りは初めての体験で楽しかったです。出来上がった和菓子には一人ひとりの個性が出てこれも面白かったです。 (2組 中本)

- 道路白線に点字ブロックがあった。家に帰ってから調べると、白線に沿って配置された誘導ブロックは警告ブロックとは異なり、進行方向を伝える役割だと知った。(3組 櫻井)



- ミニチュア展に行き、たくさんの物を見た。時間が余っていたので、他のも見ればよかった(3組 森)
- 作品の題名や説明が英語、中国語、日本語の3言語で書かれていて、それぞれのパンフレットがあり、興味が湧きました。(1組 高井)
- こうの史代展には河野さんのいろんな作品があり、とても面白かったです。床に矢印があり、見る順番が分かりやすかったです(1組 酒井珠)

観光物産館



- 「キッズスタジオ」では小学生や保育園児が笑い合って遊んでいるのが見えて、幼児にも親にもうれしい配慮だと思いました。(1組 表)

- 手すりを階段に2つ上下につけたり、点字をつけたりするなど、いろいろな人を意識してバリアフリーやUDがどこも充実している様子を見て、これまでよりも理解が深まった。 (1組 三山)
- 校外で昼食を食べる機会があまりないから、少し騒がしくなってしまった。また、2年生の男子ほぼ全員が電車でのマナーが少し悪かった。これからはプロ委として、注意や呼びかけを増やしていきたい。(1組 堂)

街中や金沢駅周辺



駅西広場での開始式



- 金沢の町中には、いろいろなユニバーサルデザインがあることが知れました。道路の白い線に丸いデコボコを付けて、踏むだけで分かるようにしたり、信号機の上にスピーカーを付けて音と視覚で知らせる工夫などに気づきました。(3組 木村朱)
- 文字や言葉が分からなくても、見ただけで分かるピクトグラムがいろいろなところに配置されていることに気づいた。 (2組 大野)
- バスを降りるときにもたもたしている人がいて、周りに迷惑をかけていて、あれにはなりたくないと思いました。 (3組 木村智)
- 信号の色によって音が変わったり、青になるまであとどれくらいなのか示したりする信号機があった。視覚や聴覚に不自由がある人でも分かる工夫があった。他の市町にはまだなく、不思議に思った。 (3組 塚本)

ひがし茶屋街周辺



- 浅ノ川園遊会館で個性的なコース ターやうちわを作ったのが楽しかったです。和紙でできた傘、昔ながらの赤ポスト、泉鏡花記念館での記念スタンプなど、普段とは違う時間を過ごせました。（2組 立畠）
- たくさんの中と交流する場面や、普段学校で話していない人とも交流でき、学んだり感じたりすることが多くあったので良かったです。（2組 能口幌）
- ひがし茶屋街で実力派俳優2名、お笑い芸人コンビに会えて超うれしかった。（1組 北）
- 有名人とあったことで社会のルールを学びました。撮影×、立ち止まり×、出待ち×など、普段は学べないルールが分かりました。（1組 小林）
- 計画するときは焦りや不安などありました。当日は計画とは違い「えっ!?」と思ったけどなんとか間に合ってよかったです。（2組 室谷）

県立美術館



- 一つ一つの作品がとても綺麗で、繊細な筆づかいだなと思った。ミニチュア展では身の回りの道具や食べ物がリアルで本当に人が暮らしているようでした。（2組 山本芽）



金沢蓄音機館

- トイレの入口の壁にトイレの地図みたいなのがあって、日本語、英語の他に点字や形の工夫があった。（2組 東心）



伝統産業工芸館

バスの乗り方など、最初はまったく分からなかつたし、何をしたらいいかもわからなかつた。でも仲間と協力することで、分からぬくすことができたし、トラブルも乗り越えられた。梅田奏（2年3組）

2 0 2 5 . 5 . 1 2 / / M O N / / 0 6

MOSAIC